令和８年度　第１回学校運営協議会　議事録

１．日　時　令和８年５月 22 日（金）午前９時 30 分から正午まで

２．会　場　藤枝特別支援学校　多目的学習室

３．目　的　・今年度の学校経営について、御理解いただく。
・今年度の各学部等の経営計画について、御理解いただく。
・校内参観を通して、学校の様子（児童生徒、教職員、環境等）について知っていただく。

４．参加者

（１）学校運営協議会委員　敬称略/50 音順

委員Ａ、委員Ｂ、委員Ｃ、委員Ｄ、委員Ｅ、委員Ｆ、委員Ｇ

（２）本校職員

校長（鈴木ゆかり）　副校長（松本知栄子）　教頭（名倉和孝）　事務長（村松康代）
小学部主事（石塚恭子）　中学部主事（黒岩章子）　高等部主事（田中宏和）、
肢体統括主任（二俣康明）　訪問教育主任（若松希美乃）
教務主任（遠藤貴子）　地域連携課（貞森保秀）



５．内容

（１）　開会および校長挨拶

副校長：本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また、足元もお悪い中ありがとうございます。本日進行を務めさせていただきます、副校長の松本です。本日ですが、議事録作成のため録音をさせていただきたいということ、記録のため写真を撮らせていただきたいと思います。御承知おきください。

校長：今年度２年目になります、校長の鈴木ゆかりです。本日お忙しい中ご出席いただき、また学校運営協議委員の方をお受けいただきありがとうございます。本年度、無事にスタートすることができました。今年度、小学部は 19 名、中学部は 23 名、高等部は 43 名の新入生を迎えまして全校で 330 名となりました。そのうち、医療的ケアのお子さんが 11 名おり、その対応をする看護師が５人います。職員は育休を取得している職員が 16 人いますが、それらの職員も含めて教職員約 200 人でスタートをしております。今年度は本校開校して 40 年目という節目の年になります。これからも地域とともにある学校を目指し、子供たちの幸せで豊かな生活のために努力してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

（２）本校職員自己紹介および委員紹介
＊本校の職員紹介

委員Ａ：委員Ａと申します。よろしくお願いいたします。
委員Ｂ：委員Ｂと申します。４年目になりました。毎回、積極的に前進されていくこちらの学校に関わらせていただくことをとても楽しみに参加させていただいております。専門が健康教育と子育て支援ですので、多様な子供たち、インクルーシブも含めて研究領域に入れております。よろしくお願いいたします。
委員Ｃ：委員Ｃと申します。本年度も引き続きよろしくお願いいたします。
委員Ｄ：委員Ｄと言います。地元ということで１年間よろしくお願いいたします。
委員Ｅ：委員Ｅと申します。よろしくお願いいたします。
委員Ｆ：委員Ｆと申します。今年５年目を務めさせていただきます。企業目線で学校の運営に役立てるような情報をお伝えできればと思っております。
委員Ｇ：委員Ｇでございます。先ほど学校が 40 年、実はうちの娘が開校の時に小学校１年生ということで、あれから 40 年経つのだなと。皆さんに負けないようにお付き合いをしていきたいなと思っています。

（３）会長・副会長の選出
副校長：会長ですけれども、本校の歴史もご存知の委員Ｇにお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。（拍手）また、副会長ですけれども、委員Ｄにお願いしたいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。　なお、委員Ａには地域コーディネーターとして地域人材の御紹介していただければと思っております。（拍手）

（４）学校経営計画および各学部経営計画の説明
校長：グランドデザインを御覧ください。学校を大きな木として捉えています。今年度の学校教育目標は『ひびき合い、つくり合う中で、自分らしく力強く生きる人を育てる』です。それを達成するために、今年度は『つなぎ、つながる藤枝特支』を合言葉にしています。児童生徒が地域の方々とつながり、学校が保護者、地域関係などとつながり、学習が日々の生活や将来の生活へとつながるなど、今まで以上に色々な面でつながることを意識していき、卒業後の豊かな生活へとつなげていきたいと思っています。
【安全・安心】防災については今年度もいろんな場面を想定した訓練を実施していくことで、職員自身が自分の役割が分かり、指示がなくても行動できることを目指します。それと共に、福祉避難所の運営についての準備等も進めていきたいと思っています。児童生徒に、防災の年間指導計画を作成し、12 年間のつながりのある防災学習を行っていきます。９月には『防災デー』という日を設けて、生徒自身が自分の身を守るための行動ができるような防災学習に全校で取り組んでいきたいと思います。人権については、人権の意識の高い児童生徒の育成と、教職員の人権意識の向上を目指します。今年度は人権年間指導計画を意識して取り組むことで、児童生徒が自分も他人も大切にすることができるような人権教育を行っていきたいと思います。

【授業】今年度は四つのプロジェクトチームを作って取り組んでおります。その一つ目がこのカリキュラムマネジメントについてです。今年度から個別の指導計画や個別の教育支援計画を県の統一様式となり、生成 AI をツールとして使い始めています。その様式が今までと変わるので、職員がまずその書式をしっかり理解して使えるようになるというところからになりますが、併せて育みたい資質能力や今の教育課程が本校の児童生徒に合っているのかなどの見直しや検討を進めていきたいと思います。その上で、『主体的・対話的で深い学び』を目指した授業づくり、授業改善に取り組んでいくために、今年度は校内授業アドバイザーを活用してよりいい授業ができるように授業研究の方を進めていきたいと思います。ICT もプロジェクトチームを作り、ICT の活用、１人１台端末を活用して学習を進めていきます。

【連携】こちらもプロジェクトチームが二つありまして、一つめは研究指定を受けているセンター的機能の充実です。地域の小中学校、高等学校等へのセンター的機能の活用をより働かせていくことを目指しています。二つめは 40 周年記念行事に向けての準備を少しずつ進めており、地域とともに 40 周年をお祝いする行事ができるような活動を取り入れていきたいです。また、地域ボランティア、外部人材の活用をより進めていけたらなと思います。

【チーム】働きがいがあり、働きやすい職場環境になるように『いいね！タイム』という時間を設定しており、職員がお互いを認め合って支え合い、よりいいチームにしていきたいと思っています。働き方改革の視点では、会議の効率化を図ったり、完全定時退勤日を設定したりしながら、職員が健康に働けるように時間外等の在校時間を減らしていくことを目指します。それと共に、会議の効率化によって生み出された時間を、子供たちのための話し合いや、子供たちと余裕を持って接したりするための準備の時間にしていきたいと思っています。

〇小学部（小学部主事）目指す児童像は『元気に 仲良く 頑張る子』です。

【安全・安心】児童が安心して活動できるよう危機管理体制の強化に取り組んでおります。具体的には様々な状況を想定した学部独自の避難訓練や、落ちてこない、倒れてこない教室環境の整備を徹底しております。また、人権意識の向上にも力を入れていきたいと思っております。児童たちが周りの人とよりよく繋がっていけるよう、気持ちの良い挨拶、自分にも相手にも優しい言葉など、教職員が率先して取り組むと共に児童への指導に取り組んでいきたいと思っております。また、『できるよカード』というものを小学部では活用しております。『できるよカード』を通じ、児童が自分の成長を実感し、自己肯定感を高められるような取組を保護者の方と協力して進めてまいりたいと思っております。

【授業】キーワードは『児童と教師が共にやりたい！できた！もっとやりたい！と感じられる授業づくり』です。学年での授業研究を充実させ、主体的で対話的な深い学びを目指した授業改善を行います。また ICT の活用や外部専門家の助言を積極的に取り入れることで、教員１人１人の専門性を高め、日々の授業に生かしていきたいと思います。

【連携】交流籍による共同学習の充実や地域の施設への作品展示など、地域とつながる教育活動を推進していきます。ホームページや Instagram を活用した積極的な情報発信を行

い、小学部の教育活動を地域へ広く伝えていくよう努めていきたいです。学習の中で地域を積極的に活用していくようにしたいと思っています。
【チーム】教職員がにこやかに対話し、認め合える環境を整えていきたいと思っております。具体的には学年会での『いいね！タイム』の設定やICTによる事務の効率化を目指し、授業検討や児童理解のための時間を生み出せるよう努力していきたいと思います。職員1人1人が日々の会話を大切にし、1人で抱え込まず組織として対応できる体制を整えていきたいです。

〇中学部（中学部主事）『自分から進んで活動に取り組む生徒』の育成を目指します。今までは『やってみよう』でしたが、今年度は『やってみたい』を『やってみよう』という風に、生徒の意欲を引き出す過程を大切にします。
【安全・安心】発災時の避難行動を自分ごととして考え、実際的に考えること、訓練や学習会を年間通じて行うことで意識が希薄にならないようにすること、また日常的な環境整備や授業時の避難経路の確認などを実施します。人権年間計画を活用した授業、人権をテーマとした生徒情報の交換、『人権いいね』を学年会や学部会で実施し、人権意識の高い生徒の育成と共に人権意識の高い教師集団であるよう努めたいと思います。
【授業】学部会でのミニ学習会を活用し、教科等の研修や目標の確認、年間指導計画の検討など教育課程の見直しを実施します。昨年度から行事の精選や年間指導計画の検討を進めている最中です。今年度は特に教科等を合わせた指導などの指導のおさえを確認し、教育課程の検討を進めていきます。また授業アドバイザーや自立活動教諭、外部講師等のアドバイスを受けながら生徒の意欲を育てる授業作りを実施し、さらに授業でつけた力の生かし方、なりたい自分の向かう方向などキャリアの視点も踏まえ、キャリア教育の手引きの活用も進めてまいります。
【連携】より充実した交流ができるよう、地域での交流籍交流の目標の確認や、地域社会や地域の人材とのつながりの継続、また効果的な発信を行っていきます。こちらに関しては、地域の皆様のお力をお借りする機会があると思いますのでよろしくお願いします。
【チーム】業務を進める上で、時間の確保や言葉掛けを大切にしながらお互いをリスペクトし同僚性を高めていくことで、ワンチームとして職務に当たりたいと考えています。その結果、子供の成長に寄与できることを職員の幸せと考え、皆で取り組んでいこうと思っています。

〇高等部（高等部主事）：目指す生徒像を『豊かな生活を築く人』としています。
【安全・安心】命を守る危機管理の整備・対応力では、発災の前に至るところでの０次安全、発災した際の初期動作の徹底です。危機管理マニュアルを遵守しつつも、必ずしも対応できない部分がありますので、そういった事態に備えて、それぞれ認知・判断・動作の臨機応変さを職員には求めていきたいと考えています。人権尊重では、常に生徒に公正、公平かつ対等な立場で生徒対応をしていくことをしていきたいと思っています。
【授業】『総合的な探究の時間』という時間があります。新学習指導要領への対応着手というところでてこ入れをするため、今年度はその準備の1年間としていきたいと考えてい

ます。『主体的・対話的で深い学び』というところについては、今予測不能な社会と言われている中で、正解ではなく、『最適解』という言葉が広く使われるようになりました。必ずしも正解は１つじゃない、色々な答えがそれぞれにある中で、『最適解』を導き出していきたいと思います。１つの価値観に縛られずに、生徒たちにもそうですし、教員自身も持たなければいけないところかなと思っております。専門性の向上、キャリア教育の推進のところについては、高等部が学校教育最後の３年間にあります。卒業すれば社会へ出て活躍していくところになりますので、そのために必要な知識・情報等を生徒・教員とも最新の情報に対応できるようにしていきたいと考えています。
【連携】地域人材の活用につきましては、お集まりの皆さんの御理解、御協力等、くまなく進めていきたいと考えています。
【チーム】個人と組織を両面で捉えながら業務を遂行していくこと、同僚への信頼・リスペクトをもつこと、他者に頼るばかりではなく、自身が自分の居場所・居心地みたいなものを作っていくところも大事かなと思っていますので、そういったところを支えていければ、と考えております。

〇訪問教育（訪問教育主任）訪問教育は障害が重く通学が困難な児童生徒の家庭にあの教員が出向いて、週２回から３回、２時間程度の授業を行っています。現在は中学部２名、高等部２名の生徒がいます。ほとんどの時間を自宅で過ごす生徒にとって家庭以外の人と関われる機会がとても大切で貴重な時間になります。ですので、目指す児童生徒像は『人とつながり心豊かに生きる人』になります。
【安心・安全】命を守る危機管理体制では、緊急時や発災時にどのような対応を取るかということを、昨年度まで保護者と何回も確認してきましたが、実際の訓練をやったことがなかったので、本年度は学校の訓練時と合わせて色々な想定での訓練を実施し、その時にどのような対応を取るのか保護者や教員が確認したり、生徒がどのような反応をしたりするのかを見ていきたいと思います。年間の訓練を通して、生徒が落ち着いて対応できるようになったらいいなと思っています。
【授業】授業ではまずは生徒の健康、そして生徒の表出を大切にし、生徒が自分からとか自分で行う動作や表現を大切にし、授業を作っていきたいと思います。電子図書の活用やICTの活用を積極的にやっていきたいと思っております。
【連携】地域資源の活用と地域貢献の推進というところですが、訪問の生徒にとって身近な社会や地域というのがまず学校になります。まずは学校としっかり繋がり本校の一員であるという意識が持てるよう各部学年と連携をしっかり取っていきたいと思います。学校の繋がりとしては、訪問の授業内で行うZoomでの交流や、年間６回から７回計画されているスクーリングで学校に来て学習する機会があります。そのほかに年に２回集合学習という学習が計画されています。そして昨年度初めて校外での学習を行うことができました。今年度も集合学習を校外で行いたいなと考え、計画しており、まず７月にしずてつストア駅南店さんでの買い物学習を計画しています。そのような外に出る貴重な機会を生かして、訪問生徒が普段体験できないことが体験できたらいいなと思っております。
【チーム】訪問教育の教員は人数も少なく、業務も色々受け持つことが多いので、皆で協

力し合って、教師の良さや強みが発揮できるような業務配置や皆で授業を作っていくという意識を作っていきたいと思います。

（５）校内参観（50 分）





（６）意見交換・質疑（熟議）

委員Ｇ：たっぷり生徒の皆さんの活躍ぶりを拝見されたと思いますので、委員の皆さん方から感想等をそれぞれ聞かせていただけるとありがたいなと思います。

委員Ｄ：卒業した後に、その自分の得意なところへ就職できる確率っていうのは、今何パーセントぐらいですか？

高等部主事：本県では、特別支援学校から障害者枠も含めて会社で働く人たちの目標として、30 パーセントとしてという数値を以前より掲げています。本校単独で言いますと、その 30 パーセントを越えたり、割ったりという状況ではありますが、企業で働くことだけが全てではないので、その人がその人らしく誰かの役に立つ、というマッチングを進めている次第です。

肢体統括主任：医療的ケア児の進路先を広げていくよう、地域全体として進めることを『重心部会』等を通して話し合っています。学校だけでできる取組ではないので、看護師さんの体制や理解を広げる場に参加しています。島田などで少しずつですが、理解のある施設が広がっている現状です。

委員Ｃ：児童生徒の皆さんが生き生きと活動しているのが印象的でした。学校生活が楽しく過ごせるのが、最終的に就労先がうまく繋がっていくのかなと感じました。

委員Ｂ：教職員の方含めて輝いてるなと感じました。一つ気になるとすれば、学校の面積が非常に広いので、何か起きた時とかマネジメントはどうされているのかなと思いました。走っていくみたいな感じなのですかね。特別広いので大変なのかなということは気になりました。

校長：本当に大きい学校ですから、全員の安否を確認するというところにはすごく時間がかかります。移動に困難を伴う子もおり、外に避難することが大変だということもあって、今年は『室内避難』をすることになっており、毎回訓練した後に反省を上げて、少しずつ少しずつ変えてやっていますが、本当にこれがベストなのかなというのはいつも悩んでいます。

委員Ａ：率直な感想を言わせていただくと、初めて目の当たりにするものばかりでびっく

りしたこともあります。入学式に参加させてもらった時、児童生徒さんよりも親御さんの方に目が行っちゃって。すごく嬉しそうな顔してる方もいれば苦労されている方もいる。地域の方は学校の中身をほとんど知りません。地域の人も知らないと、どんな協力をしたらいいのか分かってこない部分もあって、その『つなぎ役』は私が担当しなければならないのかなとすごく感じました。

委員Ｆ：挨拶、笑顔、言葉遣いを気にされながら授業の方もされてるんだなと改めて感じます。障害者雇用率が今年（７月から 2.7 パーセントに）上がるというところで、企業としても責任があります。引き続き就労の方は支援させていただければと考えております。

委員Ｅ：保護者目線でしか見ることができなくて申し訳ないのですが、今日見学して、子供たちが笑顔でやっていたのが親としては嬉しかったです。高等部の活動などの情報が他の小学部とかでは流れてなくて、高等部のお母さんから教わることが多くて。小学部、中学部のお母さんたちは結構知りたい、自分の子供たちの大きくなった姿を見て安心したいという気持ちがありますので、もしよろしかったら発信していただきたいなと思います。

高等部主事：実店舗での販売会などは、スペースや販売数に限りがあり、高等部の保護者の方にもあえて大々的には周知していません。保護者の方で溢れ返ってしまうと、一番見ていただきたい地域の方々に見ていただけない懸念があるからです。その点は、御了承いただければと思います。

（７）総括および閉会

委員Ｇ：発信をしないことには相手に知ってもらうことはできない。能登の地震でも、ペーパー上の BCP 計画はどこも取っていたのですが、現実に起きた時に動けるのか。休日や夜間、地域と現実に動ける体制が取れているのか。実際やっぱりちょっと大変でも体験をしてもらって、何が足りないのかを真剣に考える必要があるのかなという感じがします。

校長：子供、職員も元気で１年間過ごせるようにしていきたい。高等部のことを小学部の保護者に知っていただくために、Instagram やホームページでこんなことをしていますよ、と知らせることを引き続き頑張っていきたいと思います。

副校長：次回の予定ですが、９月８日（火）を予定しております。この日は全校の『防災デー』となっておりますので、本校の防災の取り組みを見ていただいて御意見いただければと思っております。